

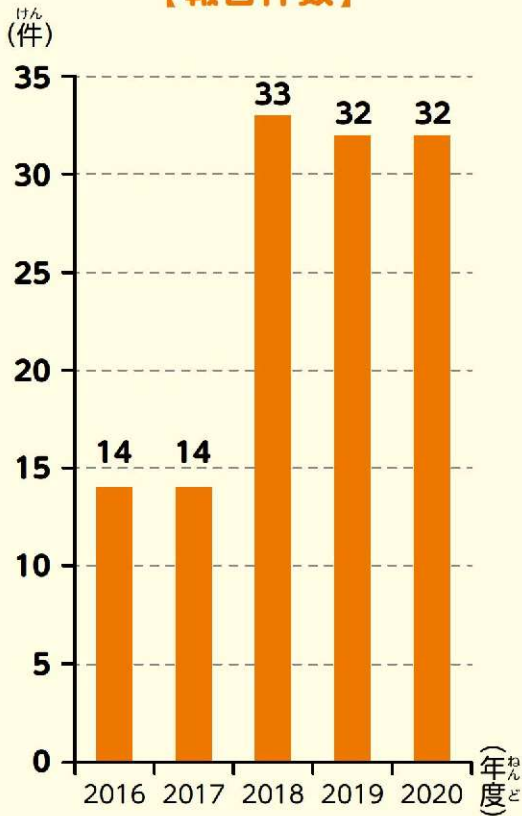
わたしが住んでいる太宰府市内の  
小中学校では、どれくらい  
差別事象が報告されていますか？

2020年度に32件の差別事象が報告されています。

そのうち31件が障がい者（児）差別につながる発言でした。特に多い発言が「キチガイ」（17件）と「ガイジ」（6件）でした。障がい者（児）に対しての差別意識があることがわかりました。

これらのことから、障がい者（児）に対する差別意識の解消が課題と言えます。

ほうこくけんすう  
【報告件数】



特に多い差別発言

### ●「キチガイ」とは

「精神障がい者」を差別する言葉です。また、「精神障がい者」の方とつなげて、自分の中の基準で「変な」「おかしい」発言・行動・考えをする人」をからかったり、侮辱したりする言葉です。

### ●「ガイジ」とは

「障がい児」を省略した言葉です。以前は身体的特徴のある人に対して侮辱し差別する言葉でしたが、今では「キチガイ」と同様相手をからかったり、侮辱したりする言葉になっています。

## 小中学校での取り組み

太宰府市内の小中学校では、これらの差別発言を受けて、次のような取り組みを行っています。

- 一人ひとりの子どもの違いを認める学習・「障がい児」と共に生きる学習
- 人とつながる言葉を大切にする学習
- 友達のよさを見つけたる日常的な指導
- 学校だよりや学年だより等で、人権に関する内容の掲載

また、各学校の取り組みを紹介しあい、それぞれの学校の取り組みの向上を図っています。



なぜ、子どもはその言葉を知り、  
使うようになったの？

子どもがその言葉を知ったきっかけは、家庭や地域、習い事の中であったことがわかってきています。2020年度に太宰府市内で発生した差別発言の中で、子どもに知った経緯を聞くと、「保護者が話しているのを聞いて知った」や「保護者を変なことをしている人にその言葉を言っていた」との回答がありました。また、「保護者が自分の子どもに対して差別発言を行っている」ことも報告されています。

子どもを取り巻く大人たちの「言葉」「行動」は、大人たちが思っている以上に、子どもにとっても大きな影響を与えます。「軽い気持ちで」「冗談で」「言ったり、行動したりしたことが、思わぬところで差別やいじめを広げるきっかけになることがあります。

今までに  
このような  
人権作品があります

何気なく  
はっした言葉  
戻せない

太宰府東小学校6年(応募時)  
福山 奈那さん



国分小学校6年(応募時)  
大谷 亜衣さん

家庭・地域で考えてほしいこと

その言葉がどのような意味からきているのか。どのような意味で使われているのか。自分が言われて傷つかないか。その言葉を発する前に、もう一度考えてみてください。

あなたが友達に言ったその言葉

あなたが子どもの前で言ったその言葉

「差別」のきっかけになっていませんか？

